

# 戦争、格差、貧困なくす



## あさか 由香

参院選 36歳  
 奈川 改選数4  
 神

日本共産党

戦争法廃止や国政での選挙協力を承認した5野党首脳会議の合意が歓迎され、共産党への期待が高まっているのを感じています。私が参加した宣伝で、戦争法廃止の00万署名に「署名したってしょうがない」という方が、5野党首脳合意の話をすると「それだったら」と署名名に心づくられました。「安倍首相の横暴は絶対に許せない」と署名した前代の女性派「天と姉と今度とは産覺しなないわ」と話して

投票するのは初めてですが必ず入れます」と語ってくれました。

あるママは、街に自民と公明のボスターが目立つから、共産党も野党のボスターを集めて強めてくれています。

安倍政権は怒り、強い危機感をもった人たちがたくさんいます。戦争法推進勢力を少数派に追い込むために必ず勝ち抜く決意です。

母を指針に

立候補の要請には、とても嬉しかったです。多くの人の実在な期待を背負う重み、まだ小さい子どもも入っています。よに過ごしたい気持ちいい。でも一度しかない人生。母のような生き方をしたいと、決断しました。

浅野・ゆかー1980年横浜生まれ。筑波大学国際総合学類卒、米・仏留學に留学。システムエンジニアとして働き、現在は共産党東京都支部勤務



### 私たちの「希望」になって

ママの会で知り合った 加藤 宏美さん(28)

## ママたちの願いは私自身の願い 家族そろって食卓囲める社会に

あるとき、「戦争法」という言葉を聞いて、「やっぱり安倍政権は、戦争につながる法制化は、たとえ胸にストンと落ちても、家族の会に賛同し、戦争法反対の行動を始めました。戦争法が進行された

ママの会で知り合った加藤 宏美さん(28)

あるとき、「戦争法」という言葉を聞いて、「やっぱり安倍政権は、戦争につながる法制化は、たとえ胸にストンと落ちても、家族の会に賛同し、戦争法反対の行動を始めました。戦争法が進行された

平和外交を 夢は「世界から格差

直後、共産党が「国民連合政府」を提案しました。野望が持てました。野望が選挙協力で白旗を掲げて、ほんとうによかったと思っています。

あさかさん、ママの会の活動で出会いました。一緒に行動し、話を聞くなかで、ママ

あさかさん、ママの会の活動で出会いました。一緒に行動し、話を聞くなかで、ママ

働くルール

今の政治は人間の尊厳をないがしろにしています。君の代わりはいくらでも二利益にならぬ人はいくらもいと言わねる社会をつくり出しています。

母は、私が引渡したとき、兄と妹とともに通事取次になりました。共産党だった母は、地産地消リズムを子育世代の運動会などに始めています。その活動は母の生きかたであり、私がかかると「ありがごとく」と言われます。母は、私の共産党員としての原動力、生き方の指針です。

だから、8時間働けば普通に暮らせる社会はつくれる、ということをおっしゃいます。人間らしく働けるルールを政府がつくれないが、家族そろって食卓を囲む生活は実現できます。

だから、8時間働けば普通に暮らせる社会はつくれる、ということをおっしゃいます。人間らしく働けるルールを政府がつくれないが、家族そろって食卓を囲む生活は実現できます。

選挙区4モ

3年前の参院選から改選数が増えた4となった神奈川選挙区。日本共産党は、1998年以降の議席獲得に向け、大層宣伝と支持拡大に取り組んでいます。

自民は、現職1人を公認し、元みんなの党の現職1人を推薦。公明は新人1人を擁立しました。おおさか維新の会は関東で初めて1人(新人)を擁立。自公と補選勢力が過半数獲得を狙います。民進は現職1人を公認し、もう1人の擁立を検討。社民は候補者を決定しました。

自分が見聞になってから、友人たちとラリマスやイベントのボラ会をもつことがあります。参加は、ママと子どもを始めています。パパは仕事を追われ、来ることができません。ママたちは「ひとり子育て」している、口をそろえています。

世界が求められているのは、血で汗を流すことです。日本が支援できないのは、憲法9条による平和外交です。

全国のママたちが訴えた、だれの子どももこころざしを、私の気持ちそのものです。人間の尊厳を守り、大切にする政治を実現するため、勝利へ全力をあげます。

比例は日本共産党へ